

2021年4月26日（月）

テレメンタリー2020「おっばい2つとってみた」 テレメンタリー2020 年度最優秀賞を受賞

HTB が制作したテレメンタリー2020「おっばい2つとってみた～46歳両側乳がん～」(2020年4月4日(土)放送)が、テレメンタリー2020年度最優秀賞を受賞しました。テレメンタリーは1992年にスタートしたテレビ朝日系列の全国24局が制作するドキュメンタリーで、地域性を重視した独自の観点からのドキュメンタリーを毎週放送しています(放送日違い全国放送)。毎年4月に1年間の作品を対象とした表彰制度があり、最優秀賞はアンコール放送されます。今年の表彰式は4月23日(木)にオンラインで開催され、HTB が制作したテレメンタリー2020「おっばい2つとってみた～46歳両側乳がん～」が最優秀賞を受賞、また、テレメンタリー2020「介護崩壊～救えなかったクラスター～」(2020年11月8日(日)放送)、テレメンタリー「ポネオハウ～アイヌの私～」(2021年2月20日(土)放送)の2作品が優秀賞を受賞しました。2020年度はHTB制作のテレメンタリー1作品が最優秀賞受賞、2作品が優秀賞受賞と、HTBでは初めての快挙となりました。

最優秀賞を受賞したテレメンタリー2020「おっばい2つとってみた～46歳両側乳がん～」は、テレメンタリー4月クール賞、1時間版は2020年日本民間放送連盟賞番組部門テレビ報道番組優秀賞、第58回(2020年度)ギャラクシー賞テレビ部門奨励賞を受賞。また、教育コンテンツの国際コンクールである「JAPAN PRIZE 2020」では最高賞となる日本賞のファイナリストに選出されるなど国内外から高い評価を受けました。

制作にあたった阿久津友紀ディレクターは「自分が患者となることで、気が付いた数々の社会の壁。出会った患者の皆さんが勇気をもってそれに立ち向かう姿。『ひとりじゃない』と私も励まされた思いでした。『がん患者が生きやすい社会』へメディアとしてできることを続けていきたいと思っております」と話しています。

HTBでは今回の最優秀賞受賞を受けて、テレメンタリー2020「おっばい2つとってみた～46歳両側乳がん～」は、5月6日(木)午後2時20分からアンコール放送いたします。(テレビ朝日では5月2日(日)午前4時30分から。ほか放送日時違い全国放送)

※プレスリリースに関するお問い合わせ
HTB 編成部 山崎
TEL : 011-205-7666
メール:yuyamazaki@htb.co.jp

(発行元) 社長室

